

まち・ひと・しごと創生平川市総合戦略（人口ビジョンと総合戦略）概要版

人口ビジョン

長期展望（2060年を展望）

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口では、平川市の総人口は2040年（平成52年）に2万3千人を下回り、2010年（平成22年）国勢調査による人口の3分の2に落ち込むと推計されています。同研究所の推計方法に準じて2045年（平成57年）以降も延長して推計すると、その後も減少を続け、2060年（平成72年）には約1万5千人となり、さらにその先も安定に向かうことなく減少を続ける見通しとなっています。

これに対し、「目指すべき将来の方向（4つの基本目標）」に沿って対策を進めることにより、下記の人口を維持し、さらにその先を展望すると約1万9千人で安定期に入ることが見込まれます。

◆2040年で約25,000人、2060年で約21,000人を維持（社人研推計：15,527人に対し約5,000人の増加）

社会減対策

自然減対策

地域に根ざす安定したしごとづくり

【基本目標：平成32年】
 ○製造品出荷額等：平成25年より10%増加。
 （平成25年工業統計：395億円）
 ○市町村内総生産（農業分）：平成24年度より10%増加。
 （平成24年度市町村民経済計算：55億円）

いつまでも住み続けたいまちづくり

【基本目標：平成32年】
 ○社会増減数：転出超過を半減（75人程度）させる。
 （平成26年青森県人口移動統計調査：150人転出超過）

若者世代の希望がかなうまちづくり

【基本目標：平成32年】
 ○合計特殊出生率：1.28から1.45へ増加。
 （平成22年人口動態保健所・市町村別統計：1.28）

健康で心穏やかに暮らせるまちづくり

【基本目標：平成32年】
 ○平均寿命：全国平均寿命まで高める。
 （男性76.7年→79.6年、女性85.4年→86.4年）
 平成22年市町村別生命表

政策分野（基本目標）

主要施策

○ブランドによる高付加価値化の推進
 ○地域農業を支える人材の確保
 ○6次産業化の推進
 ○地域資源を活かした観光コース及び商品の開発、広域観光推進
 ○企業立地の環境整備
 ○地元企業の経営基盤強化に対する支援
 ○木質バイオマス発電事業への支援
 ○賑わいのある商店街づくり

○情報発信による移住及び定住の促進
 ○空き家の利活用促進
 ○民間業者に対する宅地開発支援の促進
 ○防災意識の高い安全・安心なまちづくりの推進
 ○便利で快適なまちづくりの推進
 ○地域コミュニティ活動の支援

○結婚につながる取組および結婚への支援
 ○妊娠・出産にかかる経済的支援
 ○子育てに係る経済的負担軽減
 ○子育てに関する相談支援体制の充実
 ○子育て環境の充実
 ○子育てに係る意識の普及啓発
 ○各小中学校の学習環境の向上
 ○きめ細やかな指導による学力向上と国際感覚の養成

○自主的な健康づくり活動の推進
 ○生活習慣病の発症予防と重症化予防
 ○介護予防の推進
 ○がん検診受診環境の充実
 ○がん検診等未受診者対策の強化
 ○自殺予防相談及び支援体制の充実
 ○こころの健康づくりを担う人材の育成
 ○こころの健康診査の推進

主な重要業績評価指標（KPI）
総合戦略に基づいた事業一覧より

「津軽の桃」販売額の増加	新規就農者数の増加	観光客入込客数の増加	起業及び事業規模拡大による新規雇用創出	商談会出展回数年間	プロモーションビデオ再生回数	移住世帯数の増加	住み続けたいと思う人の割合	住環境の満足度向上	カップリング成立数の増加	出生数	小中学生の学力向上 全国標準学力検査において全国平均以上	肥満者割合の減少	運動習慣者の割合の増加	がん検診受診率の増加	自殺死亡率の減少（人口10万人当たり）
5年後20%増	年間10人	年間100万人	年間10人	年間15件	年間1万回	年間5世帯	5年後80%から90%	5年後72%から90%	年間10組	年間220人程度	全国標準学力検査において全国平均以上	5年後27.9%から23%	5年後26.9%から43%	5年後34%から50%	5年後33.4から19.4

総合戦略（平成27年度～31年度の5か年）